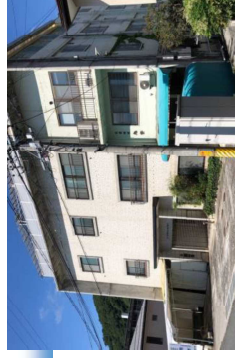




広域フードパントリー-むすびや



×10室以上



- 社会福祉法人信濃福祉
旧旭寮施設を借用
(県庁近く)

取組んでいること

① 4つの社会福祉法人が共同運営

- ・ (福)信濃福祉 (独自の食糧支援)
- ・ 長野市社協 (まいさば、食の助け合い)
- ・ (福)長野市社会事業協会 (全県への個別配送支援)
- ・ 長野県社協 (全体調整)

② 77市町村域でのFB活動の促進

- ・ 住民参加で食の循環から「やさしさ」の循環を
- ・ 支援食糧の広域募集、過不足調整

③ フードバンク団体に倉庫提供

- ・ フードバンク信州、ホットライン信州等

新たに生まれつつあるもの

① 「地域の子どもの居場所」

をたくさん作ろう！

- ・ 子ども食堂、子どもカフェ、社協の「サロン」など
- ・ 食品ロス減、見守り強化、困窮支援

② 社会的養護を必要とする

若者を支援しよう！

- ・ 食料支援、就労支援、住まいの支援
- ・ 地域とのつながり支援
- ・ 制度横断的な相談機能の充実



Leave no one behind

災害時要援護者支援にみんなで取組む

安全で優秀なデジタルマップで、地域の高齢者・障がい者や在宅福祉サービス利用者のリスクを「見える化」し、必要な範囲で共有できる。

実証実験をふまえて来年度から本格化

民生児童委員 自治会役員

- ・ 住民支え合いマップづくり、更新に活用
- ・ 防災訓練に活用

福祉・介護事業所

- ・ 在宅福祉サービス利用者の個別避難計画づくり
- ・ 事業所のBCP策定に参照



今後に検討が期待されること

災福ネットでの活用

- ・ 災害時の避難者支援のための「電子カルテ」としての活用を検討

在宅医療機器利用児者支援の仕組み

- ・ EVボラのマッチング
- ・ 安否確認訓練等に活用

災害ボランティアセンター運営支援

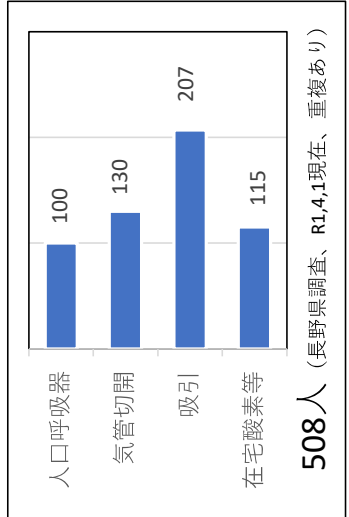
- ・ 受付用、ニーズ整理用として活用を検討

介護支援専門員、相談支援専門員

- ・ 在宅福祉サービス利用者の個別避難計画づくりに活用

〔参考〕在宅医療機器利用者（災害時要電源要支援者）の電源確保と安否確認の仕組みづくりのために（検討案）

1 要支援者（医療的ケア児等）

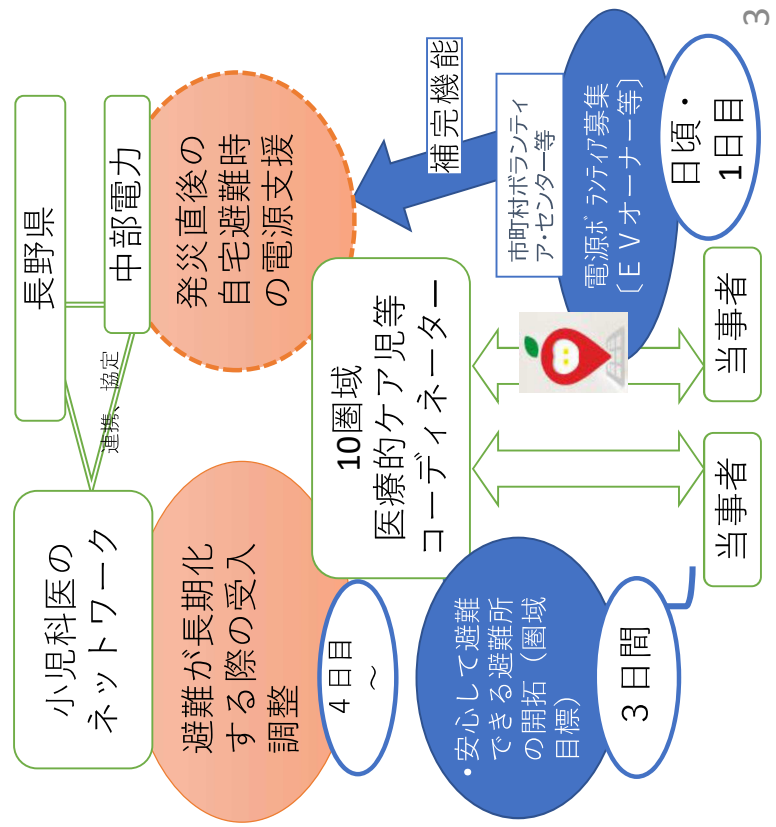


3 災福マップを活用して

電源ボランティアの募集、当事者とのマッチング支援の仕組みを検討

- ・亀井智泉氏（医療的ケア児等支援スーパーバイザー、信州大学非常勤講師）
- ・中部電力、自動車販売企業
- ・長野県、市町村社会福祉協議会
- ・NPO法人さくらネット

2 県域、圏域での支援体制



傳田委員提供資料

